

厚生病院だより

ほほえみ

広報誌

第94号

2025 10. 1

Topics

- 診療科紹介「産婦人科」
- クラウドファンディングの結果報告
- 「院外処方せんFAXコーナー」運用終了



PHOTO : 岡田 克之

基本理念

信頼され、心が通う地域医療



桐生厚生総合病院
KIRYU KOSEI GENERAL HOSPITAL

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号
TEL:0277-44-7171(代) FAX:0277-44-7170
URL: <https://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>



(編集 院外広報編集委員会)
登録商標第6959501号

帝王切開について

桐生厚生総合病院 産婦人科 診療部長の内山陽介と言います。4月に異動してきました。

周産期新生児の専門医ですが、産婦人科の専門医でもあり、群馬県立がんセンターや高崎総合医療センターなどでがんの診療も行っていました。

帝王切開について、なんとなくご存じかとは思いますが、具体的な流れ、どのように手術が行われているのか、手術室の様子はどうなのか、など、詳しくは知らないこともあるかと思いましたので、帝王切開について書かせていただきます。今回、帝王切開を経験する患者さんにご同意をいただけたので、写真付きのリポート形式でお伝えします。



手術前日、もしくは当日。私は赤ちゃんの胎位（頭がどちらをむいているか、子宮の中でどのような格好でいるのか）を確認します。見ることができれば、患者さんに、赤ちゃんの顔写真を印刷してお渡しします。「一緒にがんばりましょうね」と声をかけ、質問はないかなど確認をします。

手術室へは、基本的には歩いて向かいます。

手術室へ入ると、手術室のスタッフが迎えてくれます。ご本人であることの確認など行います。スタッフは笑顔で迎え

てくれるのでリラックスできます。

ここが桐生の手術室です。（今までの病院もそうでしたが）こちらのスタッフも皆さんとっても優秀です。動きが早いです。そして和気あいあいとして、雰囲気がとてもよいです。

私は患者さんにリラックスしてもらえるように、事前に「手術中、どんな音楽が聴きたいですか？」とリクエストをとっています。今回の患者さんは「先生の選んだ、リラックスできる音楽」というリクエストでした。コウノドリピアノの曲や、仁のテーマや JAZZ の曲などをシャッフルで流しました。緊張をほぐすためになるべく声をかけるようにもしています。



帝王切開をするからには麻酔が必要です。可能であれば、脊椎麻酔を行います。お母さんは意識があります。不安が強い方は全身麻酔を希望されるかもしれませんが、全身麻酔も許容されますが、お母さんを眠らす薬を使用すると、赤ちゃんも眠ってしまいます。赤ちゃんは生まれて「おぎゃー」となくことで羊水を吐いて、肺が膨らみます。眠っていると、それができないので少しだけピンチになります。もちろんすぐに対応しますが、できるのであれば、脊椎麻酔のほうが赤ちゃんに優しいです。ただし、母児の状態によっては全身麻酔にせざるを得ないことがあります。当院は帝王切開に必ず新生児科の医師が立ちあうのでそのときの対応は「より」安全です。

手術台で横になって背中から麻酔科の先生が針を刺し、そこから麻酔薬をいれます。背中で行われる処置なので「一番怖い」という患者さんもいます。このときもスタッフが声をかけます。

おなかの消毒が終わったらきれいな布をかけて手術前の確認を行います。タイムアウトといって、手術をする医師など手術にかかわる人の自己紹介、患者さんの紹介、予想される手術時間、出血量、合併症などを確認します。ドラマのシーンみたいと言われます。

確認が終わったら皮膚を切ります。皮膚の切りかたは縦と横の2通り。どちらにするかは手術説明の際に決めます。最近は横の人が多いです。

手術を始めてから赤ちゃんが出るまで。初めての帝王切開であれば5分かからないことがほとんどです。2回目以降になると、前の手術の影響で癒着などがあるため少し時間がかかります。

私はできるだけ、患者さんに「いまお腹の中に入りましたよ。」「これから子宮を切るので赤ちゃんがでますよ」など声をかけるようにしています。

子宮は下の方を横に切ります。これが子宮にとって優しい切り方です。

破水させずに胎胞という赤ちゃんや羊水をつつんでいる膜を露出することができたら、切ったところを指で赤ちゃんが出てこられるくらい広げます。

赤ちゃんの向きがどうなっているかを確認して破膜させます。羊水混濁がないか、血性羊水がないかなど新生児科の医師に聞こえるように大きな声で伝えます。

助手の先生にお腹をおしてもらって赤ちゃんが生まれてきます。とりあげるときには「赤ちゃんが出てきますよ～」と声をかけます。生まれたら「おめでとうございます」と必ず声をかけるようにしています。手術室内が「おめでとうの空気」に包まれます。この瞬間は格別です。何回帝王切開をしても感動します。

帝王切開だと「生んだ実感がない」、「下から生むことができなかった」、「本当に自分から生まれたのか」と感じられる方もいます。最近は患者さんが希望すれば gentle C-section「優しい帝王切開」というのをを行う施設があります。私が4月まで働いていた群馬大学医学部附属病院では行われていました。手術の時にはお腹が見えないように布などで仕切りをしておくのが一般的ですが、仕切らずに自分のお腹がみえるようにして、自分のお腹から赤ちゃんが出てくるのを直接見ることができるようにします。また、生まれた後、母児の状態が許せばお母さんの顔のそばで赤ちゃんを抱っこできるようにします。早期の母児接触ができます。

当院ではまだ行うことができませんが、できるだけ生まれた実感を得てもらえるように声かけなど行うことができればと思っています。そして、当院でも優しい帝王切開ができるようになればと思っています。

赤ちゃんは生まれた後、新生児科の医師、助産師が初期蘇生・対応を行います。

今回の帝王切開の理由は「ふたごちゃん」だったからでした。手術室の中は二人の赤ちゃんの泣き声でとってもにぎやかでした。とっても嬉しいBGMです。



赤ちゃんがお母さんより先に専用の保育器（クベース）に入って手術室から出ていきます。赤ちゃんは出ていく前にお母さんと対面します。この場面もなんともいえず、幸せな瞬間です。この仕事をしていてよかったと思える瞬間です。

今回の患者さんは「赤ちゃんは少しひやとしていて、触れたときの無事に

生まれてくれた安堵と感銘が思い出されます。思い出すと涙が出ます」とおっしゃられました。

赤ちゃんが生まれた後は、胎盤が出てきます。子宮の中がきれいであることを確認したあと、切ったところを縫います。だいたい1時間以内には手術を終えることができます。当院では溶ける糸を使用するので抜糸はありません。

手術中に気持ち悪くなったり、不安が強くなったりすることがあります。早めに痛みが出ることもあります。赤ちゃんが出た後であればいろいろな薬が使いやすくなります。気持ちを落ち着ける薬、眠る薬、痛みをとる薬などあります。我慢せずにおっしゃっていただければと思います。



お腹を閉じ終えたら、膣からの出血がどの程度か確認します。その後、レントゲンで器械やガーゼがおなかの中に残っていないかを確認して問題なければ手術終了です。

「おめでとうございます。お疲れ様でした」といって手術後に患者さんと笑いあうのが最高です。手術室のスタッフも患者さんに「おめでとうございます。がんばりましたね」と声をかけてくれます。手術室は怖い印象もあると思いますが、そこにいる人はみんな味方です。みんなが患者さんを助けてくれるあたたかい場所です。安心してください。

以上、帝王切開について書かせていただきました。もっともっと伝えたいことはありますが、この記事を参考にしていただければと思います。

患者さんは「手術の後も痛みに寄り添った看護をしていただきました。母乳育児に不安だらけでしたが、助産師さんが手取り足取り手助けしてくれます。『夜間、辛かったらベビーは預けて休んでね』の言葉に救われました。入院中の唯一の楽しみの食事&おやつもおいしいのでポイント高めです」とおっしゃられました。

ちなみに、双子のお姉ちゃんはNICU（新生児集中治療室）に入院中です。今回の患者さんがこの病院を選んだ理由の一つは、NICUがあることでした。お姉ちゃんの不調を小児科回診ですぐに発見・対応してもらえたのも、この総合病院ならではの強みだと思います。とおっしゃっていただきました。

もしよければ、当院でのお産もご検討ください。お待ちしております。

☆インスタグラムも適宜更新しているので、『桐生厚生総合病院』で検索してみてください☆



RIKYO_KOSEI_GENERAL_HOSPITAL

院外処方せん(FAX)コーナーの廃止について

この度、桐生厚生総合病院の院外処方箋発行に伴い、患者様の利便性向上のため設置してまいりましたFAXコーナーを、令和7年11月28日をもって廃止させていただきますことになりました。

開設当初は、院外処方箋の発行が一般的ではなかったため、患者様のご不安を解消する上で重要な役割を担ってまいりました。しかし、時代の変化とともに、携帯電話の普及や電子処方箋への移行など、医療を取り巻く環境は大きく進歩し、FAXコーナーの当初の目的は達成されたと判断いたしました。

ご利用いただいております患者様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、処方箋を事前にかかりつけ薬局へ送信するツールもございますので、詳細につきましては、かかりつけ薬局にご相談ください。



当院1階薬剤部横



『訪問看護ステーション桐の芽』の開設に伴う 専用車両導入等に係るクラウドファンディングご支援への御礼

2025年6月2日から8月29日まで『訪問看護ステーション桐の芽』の開設に伴う専用車両導入等に係るクラウドファンディングを実施させていただき、7月31日には目標金額800万円を達成いたしました。

目標達成に伴い、専用車両の一部車両を「環境性能に優れたエコカー（電気自動車等）」にて導入及びスタッドレスタイヤ等の必要備品を追加購入することを計画し、ネクストゴールとして1,000万円（目標金額+200万円）を第2目標に設定いたしました。

寄付総数 254人

寄付総額 12,742,800円

上記のとおり、多大なるご支援を賜り、過分なるご厚意とあたたかい応援を頂戴いたしましたこと、深く感謝申し上げます。

ご支援いただきました寄付金は『訪問看護専用車両導入等の施設整備費用』として、大切に使用させていただきます（次回、令和8年1月号で車両導入に関する報告を予定しています）。

病院の新たな事業であります『訪問看護ステーション桐の芽』が、いずれ大きな葉に成長し、地域に根付いていけるよう日々精進していく所存です。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

